

5月定例教育委員会 会議録

日 時	令和4年5月10日(火) 午前9時30分～午前10時00分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	飯田教育部長・田村教育総室長・林生涯学習室長・平岡総務課長・風間学校教育課長・石川学事課課長・芦川教育施設課長・田中甲府商業高等学校事務長・小林甲府商科専門学校事務長・青木図書館長・橘田総務課課長補佐・菱山総務課係長・坂本総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 岡田委員

・4月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

1 開会

數野教育長

これより5月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

岡田委員

新緑の木々が生え、風をさわやかに感じる気持ちのいい季節となりました。そんな陽気に誘われてか、先週までのゴールデンウィーク中は、各地に多くの人手があったようです。

テレビや新聞では、交通機関の3年ぶりの混雑状況が報道されていました。以前のように、外出を楽しみ、リフレッシュできるのはとても良いのですが、再びのコロナウィルスの感染爆発が起こらないよう、一人一人がしっかり対策を意識した行動をとって参りたいと思います。

ゴールデンウィークが開け、小中学校では修学旅行や部活動の大会、また、様々な学校行事が予定されています。昨年、一昨年と感染拡大のため、修学旅行の中止を余儀なくされた、わが子が通う学校も、今年は実施していただきました。

保護者に配布された資料を見ますと、感染予防を徹底する取り組みの説明が、多くのページを占め、先生方がいかに入念に準備された方がわかりました。供たちの安全を第1に考え、手を尽くしていただいたことに心から感謝いたします。

今年度の中学3年生は入学の時から、コロナ禍で過ごしてきました。他の学年の児童生徒も同じですが、マスク越しでしかコミュニケーションをとることができなかったこの2年間は、ストレスを感じ続けてきたと思います。そんな中で、先生や友達と過ごす2泊3日の修学旅行は大きな意味を持つのではないのでしょうか。

私も、本日夕方、帰ってくる子供から修学旅行の感想聞くのが楽しみです。そして、これから予定されているすべての小中学校の修学旅行が無事に終わられることを心から願います。

また、今年度は家庭訪問も実施していただきました。感染対策として、玄関先での短時間の訪問でしたが、これから1年間、子供がお世話になる、担任の先生と直接お話ができ、とても安心しました。思えばコロナ禍以降、子供がお世話になる先生方に、年度初めのご挨拶と年度末のお礼を直接申し上げることができない2年間でした。PTA活動の多くが自粛となりましたので、保護者が学校に出向いての行事のお手伝いができず、子供たちが先生方にどれだけお世話になっているかを直接目にすることもありませんでした。しかし、実際コロナ禍における学校生活を守るために、先生方は並々ならぬご苦勞をされてきたと思います。私たち保護者は、そのことを忘れてはなりません。また、子供たち自身も、多くの方に支えられて生活していることを忘れずに過ごしてもらいたいと思います。

世界では大変な状況が続いています。コロナ禍の生活もまだまだ続くでしょう。そのような状況の中で、多少の生活の制約があったとしても、子供たちがそれをバネとし、大きくたくましく成長してくれることを望みます。

本日は、子供たちを守り支えてくださる皆様への感謝を述べて、挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

數野教育長

会議録の署名委員は、岡田委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

數野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第6号 令和4年度副読本・ワークブックについて、資料に基づきまして、風間学校教育課長から説明をお願いします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

末木委員

資料を見ると、同じ市内の学校なのに、各学校で購入した副読本・ワークブックの冊数や金額について、違いがあることが確認できます。学校の教育目標・指導方針については尊重したいと思いますが、副読本・ワークブック等の購入について、保護者に対してしっかり説明がなされているのかお聞かせください。

風間学校教育課長

年度初めに、保護者の方に対して、1年間の学習の計画等を説明する、学年総会というものが各学校で開催され、その中で保護者に対して、教材として副読本・ワークブックを要することや、具体的な費用について説明しております。

また、今年度は、1人1台端末の中に入っているドリルを副教材として活用することで、教材を購入する必要が無くなり、保護者に掛かる費用負担の軽減も考えられると、校長会において各学校長にお伝えしている状況です。

數野教育長

保護者の方は、副読本・ワークブック等の購入費用について、他校と比較はできないので、学校の中でよく精査していただきたいと思います。

末木委員

ありがとうございました。

數野教育長

他にはないでしょうか。

原委員

子ども達からランドセルの中に入っている教材が重いという話が出ています。2年前の定例教育委員会で、当時の学校教育課長さんから、置き勉という、家に持ち帰る教材が少なくなるような取り組みを行っていくと回答をいただきましたが、その後どうなったか教えていただきたいです。加えて、子ども達の負担軽減について、再度、各学校にお願いをしていただきたいと思います。

風間学校教育課長

原委員さんが言われた置き勉のように、学校に置いていいものと、持って帰らなければならないものについて、年度の初め等に、生徒たちに伝えることで、負担軽減を図りたいと思います。

子ども達は体育着、給食着、水筒に加え、今後は一人一台端末を持ち帰ることがあるため、そのような部分にも配慮していきたいと考えています。

原委員

わかりました。
ありがとうございました。

數野教育長

他にはないでしょうか。
よろしいでしょうか。
では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

數野教育長

続きまして、第7号 令和4年度教育委員会総合教育視察について、資料に基づきまして風間学校教育課長から説明をお願いします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。
では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

數野教育長

その他何かありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

4 閉会

數野教育長

それではこれもちまして、5月定例教育委員会を閉会します。